

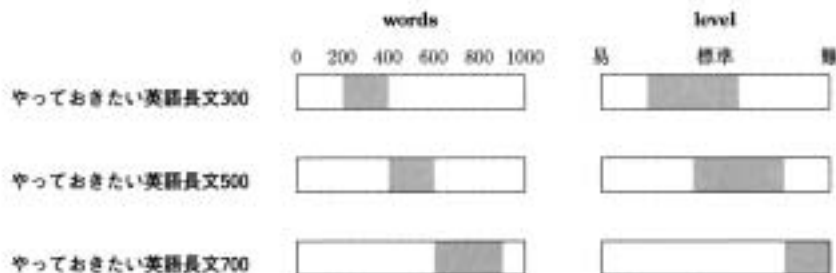
## はじめに

大学の入試問題では、読解問題が最も大きな割合を占めていますし、その割合は近年ますます高くなっています。読解問題を解けるようにすることは、受験を突破するうえで避けては通ることができません。それでは、読解問題を解くためには、どのような力が必要なのでしょう。語い力に加えて、一文一文の構造を正確に捉え、内容を把握する力が必要です。さらに、複数の文が集まって文章が構成されている以上、文と文のつながり、すなわち文脈を読み取る力も必要です。また、近年の入試問題では、今日的な話題が出題されることが増えています。そうした話題について知っておくことも、内容を理解するためには大切です。

こうした力をつけるためには、何よりも良い英文を読み、良い問題を解くことです。そこで、近年出題された問題の中から、英文の長さや難易度を基準に繰り返し読むに値する英文を選び、3冊の問題集にまとめました。設問は、ある文章に対して問うべきこと—内容の理解と英語の理解—という観点から、ほぼ全面的に作り変えてあります。

やっておきたい英語長文700は、600語から900語程度のやや難から難レベルの英文15題で構成されています。難関大学の入試を突破できるゆるぎない読解力の完成を目指します。また、近年最もよく出題されるテーマが網羅されるように英文を選び、

**Topic** として背景知識の解説も加えています。



本書が皆さんの想いの実現に向けて、役に立つことを願ってやみません。それでは、問題1にトライしてみましょう。

著者記す

## 目 次

---

1	グローバル化（同志社大）	6
2	食糧問題（三重大）	15
3	自宅教育（同志社大）	23
4	高齢化社会（早稲田大）	34
5	インターネット（旭川医科大）	42
6	言語の遷在性（明治大）	52
7	英語の将来（明治学院大）	62
8	イランでの旅（東京大）	73
9	文化と社会（同志社大）	85
10	環境と経済（大阪大）	95
11	太陽エネルギー（佐賀大）	105
12	地球温暖化（青山学院大）	115
13	遺伝子（青山学院大）	124
14	脳死（中央大）	135
15	20世紀最大の発見（千葉大）	144

## Topic

- ① グローバル化
- ② 食糧問題
- ③ 自宅教育
- ④ 少子高齢化社会
- ⑤ インターネット
- ⑥ 言語論
- ⑦ 国際語としての英語
- ⑧ 文化論
- ⑨ ジェンダー
- ⑩ 環境と経済
- ⑪ 新エネルギー
- ⑫ 地球温暖化
- ⑬ 遺伝子
- ⑭ 脳死
- ⑮ 科学論

## 解答

- 問1 個人や地域社会が、世界規模で共有されている知識や文化を利用できるようになり、国境を越えて行き来する経済の実体に影響を受けているため、国家は重要性を低下させるようになった。
- 問2 (2a)エ (2b)ア (2c)ウ
- 問3 エ, the illusions embedded in globalism serve to justify world trade
- 問4 エ, decreasing — increasing
- 問5 環境に関する限り、地球規模で考えざるをえないということ。(28字)

## ▶▶ 設問解説 ◀◀

- 問1 ポイントは *as* が前置詞ではなく、接続詞である点。*as* の後に *S, doing ..., V* ~という形が続いていることから判断する。*S, doing ..., V* は「*S*は…し、～する」と訳せばよい。*that* 以下は *economic realities* を修飾する関係代名詞節である。なお、*as* は理由を表している。

例 My mother, speaking with the man, remembered that she had met him before.

「母は、その男と話していて、以前会ったことがあることを思い出した」

- have a decreasing importance 「次第に低下する重要性を持つ、重要性を低下させる」
- gain access to A 「Aが利用できる」
- globally shared knowledge and culture 「世界的規模で共有されている知識や文化」 *shared* は形容詞用法の過去分詞。  affect 「に影響を与える」  boundary 「境界、国境」

- 問2 (2a)の *this group* は第3段落で述べられたグローバル化賛成派のこと。第3段落第3文 *They believe that, by globalization, dominant forms of social organization will lead to universal prosperity, peace, and freedom.* に一致するエが(2a)の説明として適当。(2b)の *this group* は第4段落で述べられたグローバル化反対派のこと。第4段落第1文 *Others reject it as a form of domination by advanced countries over developing ones* に一致するアが(2b)の説明として適当。(2c)の *Proponents of critical globalism* とは、直後に *take a disinterested view of the process* 「その過程を公平な目で見つめる」とあるように、グローバル化を肯定するのでも否定するのでもなく、批評的に捉える